

## 平成25年度 学校経営計画及び学校評価

### 1 めざす学校像

一人ひとりが自分らしく社会に貢献できるよう、豊かな人間性と確かな学力が育つ学校をめざす。

- 1 建学の精神「報恩感謝」を大切にし、教育理念「人をつくる」ことに基づく教育を実践することにより、人間的な成長・発展を実現し人格の形成をめざす。
- 2 生活・学習の両面において基礎・応用を徹底的に行い社会的自立にむけ、必要な基盤となる能力や態度を育成する。
- 3 一人ひとりが持つ可能性を開花させるため、学校行事や部活動への積極的参加を促し、たくましい人間力を育成する。
- 4 保護者・同窓会・後援会と連携するとともに、地域とのつながり強化を図る。

### 2 中期的目標

【1】建学の精神に基づく教育の実践を行い、私学としての独自性を発揮する。

#### (1) 私学の独自性

建学の精神「報恩感謝」・教育理念「人をつくる」ことを教職員がよく理解し、それに基づいて教育を行う。

※入学式・卒業式・全体集会など、機会あるごとに、建学の精神・教育理念について講話を行い、生徒の理解を深める。

※教育方針「個性の尊重」「実行から学べ」「明朗と自主」「礼儀と品性」に沿って、学校行事も含めあらゆる教育活動を通して、人格形成を図る。

#### (2) 生徒のニーズに対応したコース制

生徒の多様なニーズに対応し、英数・英数発展・6年一貫の3つのコース制を設けて教育活動を行う。

※英数コースは、勉強はもとより部活動もしっかり取り組めるコース。心身の調和のとれた発達と個性の伸長を図る。

※英数発展コースは、応用的な内容まで掘り下げた授業を展開し、勉強に行事に一致団結して取り組む。

※6年一貫コースは、自分の夢・目標を実現させる力を備え、これからの社会で活躍できる人材を育成する。

【2】基本的な生活習慣の確立を行うとともに、学習面において基礎・応用を徹底的に行い、確かな学力を育成する。

#### (1) 生活指導

※基本的な生活習慣と規律ある態度を養う指導を行い、集団生活における社会性を身につけさせる。

※重点を置いた指導として、挨拶運動・シェアザシート運動を実施する。

#### (2) 教科指導

※各教科は個人に応じて基礎・応用を徹底的に行うため年間を通じた教育計画を立て、シラバスに沿って指導する。

※授業に創意工夫を行い、分かりやすい授業を行う。

※学力の向上をめざすため、早朝テスト・放課後学習・休暇中の講習を実施する。

【3】安全で安心な学校づくりと生徒への支援

#### (1) 人権教育

生徒一人ひとりが互いの個性を尊重し合う集団づくりを行うとともに、人権を尊重する学校づくりを行う。

※人権感覚を持ち相手の身になって行動できるよう、日々の学校生活すべての活動を通して人権教育を行う。

※いじめ等を防ぐため各学年、日直面談を行い、学期ごとに「仲間づくりアンケート」を実施し人権意識を育てる。

※障がい者と外国人差別について(1年)、身分差別と平和学習(2年)、総まとめと進路について(3年)と学年毎にテーマを決め人権教育を行う。

※12月の人権週間には人権講演を実施する。

#### (2) 危機管理と情報公開

生徒の安全・安心を優先して危機管理に当たり、私学の有する公の性質と学校教育に果たす役割を考慮して情報を公開する。

※教職員は生徒の安全が何よりも大切であるという認識を日頃から持ち、危機管理マニュアルを作成し、安全・安心な学校をめざす。

※学校ホームページの公開掲示板等で可能な範囲の教育活動や情報の公開を行う。

#### (3) 課題を抱えている生徒への支援と進路希望

※生徒が抱えている問題に対して、一人ひとりを大切にしたいきめ細かい相談・指導を行う。

※個々の生徒に応じた希望・目標を実現させるよう、進路相談や進路支援を行う。

【4】保護者・同窓会・後援会との連携と地域への社会貢献

保護者・同窓会・後援会との連携をすすめるとともに、地域の社会活動や啓発活動等に協力する。

※保護者と協力しPTA活動を活発にするとともに、保護者・同窓会・後援会との連携し、文化祭・体育会などの生徒会活動を支援する。

※自治体等から依頼される式典・啓発活動等で地域に協力する。

### 【自己評価アンケートの結果と分析・学校協議会からの意見】

自己評価アンケートの結果と分析 [平成 26年 1月実施分]	学校協議会からの意見
<p>評価項目：教育活動全般及び学校に対する全体的評価を行う 評価方法：各項目について、5段階評価で行う 5：大変そう思う 4：どちらかといえば思う 3：普通 2：あまり思わない 1：全く思わない</p> <p>○生徒・保護者</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「入学してよかったか」の設問では昨年と同じ、保護者4.4、生徒4.2と目標値を上回っているが、これからもより良い評価を目指す。</li> <li>・「基本的な生活習慣」の再確認と育成を行い、<b>目標値4.0以上</b>としたが、いずれもクリアできていない。生徒はより高いレベルの満足度を欲しているようで、保護者から見た数値はいずれも4.0以上あり、生徒は自分に厳しく基準を設定しているようだ。また、生活習慣は全ての基本であり、今後も教育の最重点課題として取り組む。</li> <li>・「いじめの対応」が目標値(4.0)に達していない。講演会(保護者対象・生徒対象・教員対象)や職員研修などを実施し、特に見えにくい携帯電話による誹謗中傷の予防に力を注いだ。全ての生徒が楽しく安全な学校生活を過ごせるように今後もより一層取り組む。 <b>設問【⑩いじめの対応は適切か】 (生徒 24年度3.6/25年度3.6)</b></li> </ul>	<p>○ <b>生徒・保護者による学校評価アンケート結果に対する外部評価</b></p> <p>基本的な生活習慣についての評価が低いのは、外部評価では子供たち自身の評価が厳しいのではないかと好意的に見られ、校則は適当で、子供たちもその校則に従って生活できているように感じていただいている。また、指導方法に工夫をしたりし、生徒の心に浸透するような客観的な指導を迫及することが良い。</p> <p>いじめについては、日直面談等、個人レベルでの対応は良くできていると思うが、なかなか生徒本人から教師に事象について相談することは勇気がいる、難しい時もあるが、保護者が心配して教師に相談すると迅速に対応してもらえる状況があることはすばらしい。また、携帯電話など情報機器での問題が増加している。LINEなどでの総合コミュニティサイトでの誹謗中傷も増加している。いじめについても情報のやり取りが教師、保護者が思うよりも速く、わかりにくい点もあるので、常に気を配らなくてはならないと思う。</p> <p>本学園中学校では陰湿ないじめをする生徒はいないと思われる。逆に無関心な生徒が多いのではないかと懸念も残る。一般的にもその傾向が強いが、生徒同士の相互理解を深める活動が充実するとよい。そして、母親への研修活動を充実させ、保護者への子育て学習の機会を増やすことを検討</p>

<p>・「学力のつく学習」の更なる実践を目指しました。目標値4.3以上に設定し教員・生徒共に目標値をクリアできるように頑張ったがアンケートの数値は低く、生徒自身が自分自身を評価するため、判定基準を厳しくしているように思われます。外部模試や高校合格実績から判断するともっと高い数値でも良いと思われるが、来年度は生徒の学力の向上に向けてより一層創意工夫を行う。</p> <p>設問〔④生徒は授業に意欲的か〕 (生徒 24年度3.6/25年度3.6)</p> <p>・「クラブ活動と多彩な行事」は「実行から学べ」の教育方針のもと、体験を通して学んだ知識を使いこなせる能力を身につけるために力を注いでいる。人間力の育成に重要な行事やクラブ活動及び人間関係の項目が高評価である。</p> <p>・全項目における平均は保護者 4.1 生徒 3.8 で、昨年度よりも少し良い評価になっている。各項目別に目標値を決め、基本的な生活習慣の定着はもとより人間力の育成・学力の向上に向けてより一層努力が必要である。</p> <p>○教職員</p> <p>・学校運営に関する評価については当面の目標である 4.3 以上の評価が設問中の1項目しかなかった。また、昨年度と比べ7項目の評価が下がり、教育方針や学校運営を教職員が良く理解し、教育を実践するよう努力が必要である。</p> <p>・教育内容に関する評価については、設問中の9項目で当面の目標 4.3 以上の評価である。ここでは、人権教育や読書タイム・生徒会活動・授業を受ける基本的なマナーの評価が高い。</p> <p>・生徒指導・支援に関する評価については、10の設問があるが全体的に高評価であるが、4.3を下回る項目は昨年より増え、4項目になり学習支援・進路相談等に努力が必要である。</p> <p>・教員研修・資質向上に関する評価については3項目すべてに評価が低く、その改善に努力した成果が見えない。今後より一層の強化に努めなければならない。特に、個々の教員が研修に参加した成果の共有も不十分であり、経験交流の場を設け学び合う環境作りを考えたい。</p> <p>【分析】 学校目標に沿い、教員がどのように努力しどの程度達成できたかを自己評価した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・調査結果を分析して、そこから見えてきた新たな課題を、今後の学校改革・教育改善の目標としてしっかりと取り組んでいきたい。生徒一人ひとりを大切にしながら、教員相互の連携・協力をより密にとり、今後さらに研鑽を重ね教育力の向上を図り、より良い教育の実践を目指す。</li> </ul>	<p>し、学校と保護者の協力体制を強化してほしい。(母親教室など)と今年度も多くの意見を頂き、今後の指導に役立てる。</p> <p>外部の意見では、工夫して授業を計画している。保護者が自分の子供の様子に満足(期待)する思いが強いため、少し評価が低くなっている。また、各教科の取り組みで、研究授業や自己研鑽などでよりいっそう授業力を向上する機会を作るよう努力できればより良いと考えられる。</p> <p>行事は本当に多彩で満足いくものである。他校に比べ、量だけでなく、その内容も非常に充実していると思われる。</p> <p>概ね評価どおりであり、評価が低い生活面なども昨年の評価より向上していることを評価していただきました。さらに学校に今後の期待をされています。</p> <p>○ 教員による自己評価集計結果報告に対する外部評価</p> <p>前年度と比較すると評価は下がっています。教員がそれだけ学校内の問題点を注視し、それぞれの項目で自分に厳しく採点している評価と考えます。反面、教育内容についての教科指導の評価は高く、満足のいく数値である。教師間で違いもあるかと思われるので、より向上させるためにも研究授業等を充実させ、教員研修・資質向上については研修の成果を他の教員と共有できるように外部研修や自己研鑽を活発に行うように指導し、またその内容が教員で共有できるように研修報告書の充実や研修発表などの対応をするほうが良い。など会議の有効性や教員研修の情報共有など残される課題に対する対応や改善を指摘されました。より充実した教師間のコミュニケーションの充実が課題となります。</p> <p>○ 結果</p> <p>総合的に学校評価・自己評価ともに概ね評価通りであり、改善策も妥当と感じられます。</p>
--	---

3 本年度の取組内容及び自己評価

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取組計画・内容	評価指標	自己評価
1 建学の精神に基づく教育の実践と私学としての独自性	<p>(1) 私学の独自性</p> <p>(2) 生徒のニーズに対応したコース制</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入学式・卒業式・全体集会など、機会あるごとに、建学の精神・教育理念について生徒に話し、理解を深める。</li> <li>・教育方針「個性の尊重」「実行から学べ」「明朗と自主」「礼儀と品性」に沿って、学校行事も含めあらゆる教育活動を通して、人格形成を図る。</li> <li>・英数コースは、勉強はもとより部活動もしっかり取り組めるコース。心身の調和のとれた発達と個性の伸長を図る。</li> <li>・英数発展コースは、応用的な内容まで掘り下げた授業を展開し、勉強に行事に一致団結して取り組む。</li> <li>・6年一貫コースは、自分の夢・目標を実現させる力を備え、これからの社会で活躍できる人材を育成する。</li> </ul>	<p>教員による建学の精神の理解及び実践。 (平成24年度 4.3 平成25年度 4.3)</p> <p>教員による教育方針の理解及び実践。 (平成24年度 4.2 平成25年度 4.2)</p>	<p>建学の精神・教育理念については、各教員は良く理解し、教育活動を実践していると考えられる。</p> <p>英数コースは、クラブと勉強の両立・早朝講習(早朝テスト)・テスト前の補充学習など 英数発展コースは、内容の濃い授業の展開など 6年一貫コースは、社会人講座や勉強合宿などを通じてバランスの取れた人格形成を目指している。</p>

<p>2</p> <p>基本的な生活習慣の確立と確かな学力の育成</p>	<p>(1) 生活指導</p> <p>(2) 教科指導</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>基本的な生活習慣と規律ある態度を養う指導を行い、集団生活における社会性を身につけさせる。</li> <li>重点を置いた指導として、挨拶運動・シェアシート運動を実施する。</li> <li>各教科は基礎・応用を徹底的に行うため、年間を通じた教育計画を立て、シラバスに沿って指導する。</li> <li>授業に創意工夫を行い、分かりやすい授業を行う。</li> <li>学力の向上をめざすため、早朝テスト・放課後学習・休暇中の講習を実施する。</li> </ul>	<p>教員による、規則を守らせる指導。 (平成 25 年度 4.6)</p> <p>生徒・保護者による教員の規則を守らせる指導。 (平成 24 年度 生徒 3.8 保護者 3.7) (平成 25 年度 生徒 3.9 保護者 4.0)</p> <p>教員による挨拶・礼儀を重んじる指導。 (平成 24 年度 4.5 平成 25 年度 4.5)</p> <p>教員によるシラバスに沿った指導。 (平成 24 年度 4.4 平成 25 年度 4.1)</p> <p>教員による授業に創意工夫を行い、分かりやすい授業の展開。 (平成 24 年度 4.5 平成 25 年度 4.3)</p> <p>生徒・保護者による教員の授業は分かりやすい授業であるか。 (平成 24 年度 生徒 3.7 保護者 3.5) (平成 25 年度 生徒 3.8 保護者 3.8)</p> <p>教員による生徒の学力向上に努める意欲。 (平成 24 年度 4.2 平成 25 年度 4.3)</p> <p>学習の遅れている生徒への支援を個々の生徒の実態に合わせて行なっている。 (平成 24 年度 4.3 平成 25 年度 4.0)</p> <p>生徒・保護者による学校の学力向上への努力。 (平成 25 年度 生徒 4.0 保護者 4.1)</p> <p>生徒・保護者による生徒の学力向上への意欲。 (平成 25 年度 生徒 3.6 保護者 3.8)</p>	<p>「規則を守る」評価が教員の指導は 4.6、生徒は 3.9 と開きがある。教員は生徒指導に自己満足せず、生徒・保護者の理解を得よう努力が必要である。また、日頃の生徒の挨拶や礼儀については良く頑張っている。</p> <p>教員は、シラバスに沿った指導及び、分かりやすい授業に努力は見られるが、生徒・保護者にとっては評価が 3.8 と低くなっている。教員の益々の研鑽が期待される。</p> <p>学力向上への努力については、教員・生徒・保護者のすべてが 4.0 以上であるが、学習意欲については 3.6 と生徒の評価が低い。教員は、生徒の将来像への希望などをふまえた HR 指導や教科指導の工夫を必要とされる。</p>
<p>3</p> <p>安全で安心な学校づくりと生徒への支援</p>	<p>(1) 人権教育</p> <p>(2) 危機管理と情報公開</p> <p>(3) 生徒への支援と進路希望</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>人権感覚を持ち相手の身になって行動できるよう、日々の学校生活すべての活動を通して人権教育を行う。</li> <li>いじめ等を防ぐため各学年、日直面談を行い、学期ごとに「仲間づくりアンケート」を実施し、人権意識を育てる。</li> <li>障がい者と外国人差別について(1年)、身分差別と平和学習(2年)、総まとめと進路について(3年)と学年毎にテーマを決め人権教育を行う。</li> <li>12月の人権週間には人権講演を実施する。</li> <li>教職員は生徒の安全が何よりも大切であるという認識を持ち、危機管理マニュアルを作成し、安全・安心な学校をめざす。</li> <li>学校ホームページの公開掲示板等で可能な範囲の教育活動や情報の公開を行う。</li> <li>生徒が抱えている問題に対して、きめ細かい相談・指導を行う。</li> <li>個々の生徒に応じた希望・目標を実現させるよう、進路相談や進路支援を行う。</li> </ul>	<p>教員は周囲の人を尊重し、よりよい人間関係を築いていく態度を養う教育を実践している。 (平成 24 年度 4.5 平成 25 年度 4.5)</p> <p>生徒・保護者による教員の「いじめ」の対応は適切か。 (平成 24 年度 生徒 3.3 保護者 3.5) (平成 25 年度 生徒 3.6 保護者 3.7)</p> <p>教員は人権に係わる様々な問題に関心を持ち、人権意識を高める教育を実践している。 (平成 24 年度 4.5 平成 25 年度 4.3)</p> <p>危機管理マニュアルを作成し非常時の役割を分担している。 (平成 24 年度 4.2 平成 25 年度 4.1)</p> <p>緊急時に備え、警察、消防との連携・訓練等の学校安全対策は充分にとっている。 (平成 24 年度 4.2 平成 25 年度 4.0)</p> <p>学校ホームページの公開掲示板等で可能な範囲の教育活動や情報を公開している。 (平成 24 年度 4.1 平成 25 年度 4.0) (保護者 平成 24 年度 3.5 平成 25 年度 3.8)</p> <p>生徒の抱えている問題に対して、一人ひとり大切にしたいきめ細かい相談・支援を行なっている。 (平成 25 年度 4.2)</p> <p>生徒の個人面談は充分か。 (生徒 平成 24 年度 3.7 平成 25 年度 3.9)</p> <p>生徒の将来を見据え、進路情報の提供や進路ガイダンスなどの進路指導を実施している。 (平成 24 年度 4.4 平成 25 年度 4.3)</p> <p>個々の生徒に応じた希望・目標を実現させるよう、進路相談や進路支援を行なっている。 (平成 24 年度 4.4 平成 25 年度 4.2)</p>	<p>本校教員の人権意識は、かなり高いと考えられるが、「いじめ」の対応についての生徒・保護者の学校に対する見方は決して高くはない。教員は平成 26 年 4 月に出した「いじめ学校基本方針」を理解し、いじめを未然に防ぎ、人権意識を高める努力も必要である。</p> <p>教員は、危機管理マニュアルを理解して、生徒が安全に登校・生活できるようにしている。しかし、それに伴う備品等の一層の充実が期待される。</p> <p>個人情報の関係があり、写真や個人名の HP 上の掲載が難しくなり、教育活動の公開は少なくなってしまうので、方策を検討し HP 公開内容を充実させる。</p> <p>日直面談・進路面談などおこなっているが、生徒の満足度は 3.9 となっている。決められた面談だけではなく、いつでも相談に行けるよう改善が必要である。</p> <p>3 年になると、進路説明会(生徒 2 回・保護者 2 回)・進路懇談など実施しているが、出願方法や受験内容が年々変化する中、教員相互による進路学習会を経て、生徒・保護者に進路支援をおこなう必要がある。</p>

<p>4 保護者・同窓会・後援会との連携と地域への社会貢献</p>	<p>保護者・同窓会・後援会との連携をすすめるとともに、地域の社会活動や啓発活動等に協力する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者と協力しPTA活動を活発にするとともに、保護者・同窓会・後援会との連携し、文化祭・体育会などの生徒会活動を支援する。</li> <li>・自治体等から依頼される式典・啓発活動等で地域に協力する。</li> </ul>	<p>保護者から見るPTA活動は活発か。 (保護者 平成24年度3.5 平成25年度4.0) 生徒から見る生徒会活動は活発か。 (生徒 平成24年度3.6 平成25年度3.7)</p>	<p>行事を通じて、生徒会が中心となりボランティアかつどうや震災復興支援などおこなっているが、今後継続的におこなう。また、生徒の自主性を促す行事の充実に尽力したい。</p>
---------------------------------------	---	---	--	--